

自己評価書

令和5年度

東京農工大学

目 次

別表 1	学生の受入に関する自己点検・評価	1
別表 2	学生支援に関する自己点検・評価	5
別表 3	施設整備に関する自己点検・評価	12
	施設整備委員会	12
	大学情報委員会	14
	図書館商議会	15
別表 4	教育課程と学修成果に関する自己点検・評価	16
	農学部	17
	工学部	41
	農学府	67
	工学府	91
	生物システム応用科学府	119
	連合農学研究科	148

学生の受入に関する自己点検・評価（入学試験委員会（責任者は副学長（教学統括担当））

評価対象事項 1. 各教育課程の入学定員充足状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
実入学者数が、入学定員に対して適切な数となっているか	・令和5年度学部・大学院入学者選抜状況（10月入学含む）	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定 <input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 女性未来育成機構において、本学卒業生の女性研究者を招き、キャリアパスセミナー（仕事内容やワークライフバランスについて）を継続的に開催している。		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（自己判定を2. または1. とした場合は必須） 農学府4年制博士課程共同獣医学専攻の超過率は130%と改善の兆しがみられるが、農学府の改組に併せて入学定員の増を計画している。 工学府博士課程共同サステナビリティ研究専攻においては、経済的な支援が必要な博士課程への学生に対する各種奨学金制度を拡充し、学費負担の軽減を図り、学生の志願者の回復を目指すとともに、民間企業で研究している社会人をターゲットに企業や研究所に赴いて博士課程の説明会を行い、博士取得を目指す研究者の獲得を図っている。		

評価対象事項 2. 学生受入方針の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学生受入方針において、求める学生像、入学者選抜の基本方針の双方が明示されているか	・ 学生募集要項	
	・ ホームページ	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2.または1.とした場合は必須)		

評価対象事項 3. 入試選抜の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施しているか	・学生募集要項	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2.または1.とした場合は必須)		

評価対象事項 4. 学生受入に関する取組状況とその結果を踏まえた選抜の改善状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか	・ R4-4入学試験実施小委員会議事要旨	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2.または1.とした場合は必須)		
学長ビジョン実現のため、学士課程においては、農または工学分野を究める潜在的能力を有し、他者と協力して地球規模の課題を解決する意欲のある学生の受け入れができるように学生受入方針を検討し、入学者選抜の見直しを図る。		

学生支援に関する自己点検・評価（教育・学生生活委員会）

評価対象事項 1. 学年暦		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業期間が原則として35週にわたるものになっているか	・学年暦	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2.または1.とした場合は必須)		

評価対象事項 2. 卒業率及び修了率		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
標準修了年限内の卒業（修了）率が適切な水準を保っているか	・標準修業年限内の卒業（修了）率（過去5年分） 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2.または1.とした場合は必須)		

評価対象事項 4. 保健管理センター、学生相談室、就職支援室等の利用状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備しているか	・相談・助言体制等一覧（別紙様式2-4-①を使用）	
	・保健管理センター事業報告書	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2.または1.とした場合は必須)		

評価対象事項 5. 学生の課外活動に係る支援状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学生が部活動や自治会活動の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援がなされているか	・課外活動・サークル紹介	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2.または1.とした場合は必須)		

評価対象事項 6. 留学生に対する生活支援の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っているか	・留学生への生活支援の内容及び実施体制（別紙様式2-6-①）	
	・G教育院 留学生向け相談窓口J-Support、日本語クラス	
	・チューターマニュアル	
	・留学生オリエンテーション資料	
	・留学生向け情報掲載用WEB掲示板	
	・学生便覧（英語版）	
	・外国人留学生のためのガイドブック	
	・留学生向け動画	
	・卒業・修了生進路状況調査 ・同窓会_同窓生住所・進学就職先連絡フォーム	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
・留学生が広く本学での修学及び学生生活に必要な情報を把握できるよう、学生便覧の英語版（本評価書添付）を作成した。（学生便覧英語版については、毎年度継続的に最新版を発行の予定）		
・渡日前の学生も参加できるよう、これまで対面のみで実施していた留学生オリエンテーションをオンラインと対面のハイブリッド開催に変更した。（学生の入学タイミングに合わせて4月と10月の年2回開催）		
・グローバル教育院において、専門とするコーディネータ教員による相談窓口J-SUPPORTを設置し、留学生の修学、生活上の様々な問題や悩みに対応した支援を行っている。（オンライン、対面いずれの形式での面談も可能であるため、渡日前の学生も利用が可能である。）		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（自己判定を2.または1.とした場合は必須）		

評価対象事項 7. 障害のある学生等に対する支援状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生の生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っているか	・ 障害のある学生等に対する生活支援の実施体制及び実施状況（別紙様式2-7-①を使用）	
	・ 特別修学支援室活動報告	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2.または1.とした場合は必須)		

評価対象事項 8. 学生に対する経済的支援の整備状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学生に対する経済面での援助を行っているか	・ 令和5年度前期入学生料免除及び徴収猶予結果概要 他4点	
	・ 令和5年日本学生支援機構推薦候補者決定までの経過報告	
	・ 遠藤章奨学金執行状況2023年度	
	・ かがやく博士人材採点結果一覧	
【特記事項】上記の評価基準において、根拠資料では十分に立証できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その実施状況を記載		
【自己判定】以上の点検内容を踏まえた評価基準の自己判定		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(自己判定を2. または1. とした場合は必須)		

学生の受入に関する自己点検・評価（施設整備委員会）

評価対象事項 1. 施設・設備の整備状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・施設・設備を計画的に整備しているか（独自項目） ・施設・設備について安全性が配慮されているか	「施設整備に関する自己点検・自己評価」「キャンパスマスタープラン2022」	
	「令和5年度施設・設備整備工事実施一覧」「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
「施設整備に関する自己点検・自己評価」で示されている評価の高い施設・設備を優先して計画されていることを確認した。また、「令和5年度施設・設備整備工事実施一覧」により、今年度計画している工事が「キャンパスマスタープラン2022」の一覧表の上位であることを確認した。		
「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」で示されている「施設の評価項目と優先順位」についての評価配点で安全性を含む総合劣化度の評価点を他の評価項目（経年、教育研究に対する影響度）に比べ2倍の配点として評価しており、「安全性が配慮されている」ことを確認した。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 2. 施設・設備の整備状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されているか	・ 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式 1	共通基礎データ様式(様式1)
	・ 2以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧	別紙様式3-2-①を使用
	・ 自主的学習環境整備状況一覧	別紙様式3-2-③を使用
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
施設整備に関する自己点検・自己評価のみならず、施設別修繕結果報告書の結果も照らし合わせて計画を立てていることから教育研究に支障が出る不具合等がない		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

施設整備に関する自己点検・評価（大学情報委員会）

評価対象事項 1. 情報設備の整備状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、情報設備が適切に整備されているか	令和5年度：学術情報基盤実態調査（コンピュータ及びネットワーク編）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

施設整備に関する自己点検・評価（図書館商議会）

評価対象事項 1. 図書館設備の整備状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
文部科学省が実施する「学術情報基盤実態調査」の観点に基づき、図書館設備が適切に整備されているか。	令和5年度学術情報基盤実態調査（大学図書館編）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
令和4年度はコロナ禍の影響により入館受付を停止したため、学外の利用者の実績は無かった。		
電子ジャーナルやデータベースにおける本体価格の上昇と円安の影響による契約金額の上昇や、転換契約にかかる新たな大学予算の確保にむけて鋭意取り組んでいる。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
今後、オープンアクセスを推進するための大学の方針を策定するとともに、転換契約も含め、さらなるオープンアクセスの推進を図る。		

評価対象事項	評価実施主体	分析項目	農学部	農学府	工学部	工学府	BASE	連合農学研究科
1.シラバス入力状況		全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	2. 一部不十分	4. 適切
2.成績分布状況の組織的な確認状況		成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切	4. 適切
3.授業アンケート結果		授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
4.卒業(修了)時の学生からの意見聴取		卒業(修了)時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	3. 概ね適切	4. 適切	4. 適切
5.学位授与方針		学位授与方針が、大学の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されているか	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
6.教育課程方針		・教育課程方針において、①教育課程の編成の方針②教育課程における教育・学修方法に関する方針③学習成果の評価の方針、が明確かつ具体的に示されているか ・教育課程方針が学位授与方針と整合性を有しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
7.教育課程の編成の体系的性		教育課程の編成が、体系的性を有しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
8.授業科目の内容		授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
9.他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位認定の規定状況		他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位を認定する規定を定めているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
10.学位論文(特定の課題についての研究の成果を含む)の作成等に係る指導体制		大学院課程(専門職学位課程を除く)においては、学位論文(特定の課題についての研究の成果を含む)の作成等に係る指導体制が適切に整備され、計画を策定した上で指導されているか	(該当なし)	4. 適切	(該当なし)	4. 適切	4. 適切	4. 適切
11.1年間の授業を行う期間		1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
12.授業期間		・各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっているか ・10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
13.授業形態や学習指導法の適切性や学生への周知状況		適切な授業形態、学修指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	2. 一部不十分	4. 適切
14.教育上主要と認める授業科目の担当教員の状況		教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
15.専門職学位課程におけるCAP制度の規定状況		専門職学位課程においては、履修登録の上限設定の制度(CAP制度)を適切に設けているか	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)	4. 適切	(該当なし)	(該当なし)
16.履修指導体制、学習相談体制の状況		・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか ・学生のニーズに応え得る学修相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
17.キャリア関連科目、インターンシップ等の実施状況		社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
18.履修上特別な支援を要する学生への学習支援の実施状況		障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援を行う体制を整えているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切
19.成績評価基準の策定状況		成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
20.成績評価基準の周知状況		成績評価基準を学生に周知しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切
21.成績に対する異議申し立ての状況		成績に対する異議申し立て制度を組織的に設けているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
22.卒業又は修了要件の策定状況		大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件(以下「卒業(修了)要件」という。)を組織的に策定しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
23.学位論文又は特定の課題についての評価基準の策定状況		・大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定しているか	(該当なし)	4. 適切	(該当なし)	4. 適切	4. 適切	4. 適切
24.策定した卒業修了要件(学位論文評価基準を含む。)の学生への周知状況		策定した卒業(修了)要件(学位論文評価基準を含む。)を学生に周知しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
25.卒業又は修了の認定状況		卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文評価基準を含む)に則して組織的に実施しているか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切
26.標準修了年限内の卒業(修了)率及び「標準修了年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得状況		標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	4. 適切	4. 適切	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切
27.就職及び進学状況		・就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	4. 適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切	3. 概ね適切	4. 適切

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（農学部）

評価対象事項 1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか	シラバス入力状況	
	R5-1回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスの入力を通年で依頼し、各学科に配置されているシラバス点検委員により確認している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 2. 成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	農学部成績評価分布データ	
	R5-8回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学部教育委員会、農学部運営委員会を通し、各学科で確認している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 3. 授業アンケート結果		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	2022年度後期授業アンケート集計結果	
	R5-2回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業アンケートは履修者が10人以下など回答者が特定できる場合を除き、全科目で実施している。最後の講義時などに実施するよう教員へ周知している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
以前の紙媒体（マークシート方式）よりもWeb方式は回答率が低い。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
農学部教育委員会などを通して学科で教員へアンケート回答時間をとることを徹底してもらうように呼びかける。		

評価対象事項 4. 卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	2022年度卒業生・修了生アンケート集計結果	
	第5-3回農学府・農学部学生生活委員会委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
卒業論文の発表会の合い間や指導教員を通して卒業生アンケートへの協力を呼びかけている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 5. 学位授与方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学位授与方針が、大学の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されているか	農学部ディプロマ・ポリシー	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学科ごとに教育理念と目標を掲げ、教育内容、履修方法、コースツリーを履修案内に示し明確化している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 6. 教育課程方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・教育課程方針において、①教育課程の編成の方針②教育課程における教育・学修方法に関する方針③学習成果の評価の方針、が明確かつ具体的に示されているか	農学部カリキュラム・ポリシー	
・教育課程方針が学位授与方針と整合性を有しているか	農学部カリキュラム・ポリシー 農学部ディプロマ・ポリシー	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 学科ごとに教育理念と目標を掲げ、教育内容、履修方法、コースツリーを履修案内に示し明確化している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 7. 教育課程の編成の体系的性		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育課程の編成が、体系的性を有しているか	農学部カリキュラムマップ及びフローチャート	
	農学部履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学科ごとに教育理念と目標を掲げ、教育内容、履修方法、コースツリーを履修案内に示し明確化している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 8. 授業科目の内容		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっているか	農学部シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
講義、演習、実習科目ごとに単位数に見合う適正な授業回数とその内容がシラバスに記載されている。シラバスの記載内容はシラバス点検委員による点検が行われている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 9. 他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位認定の規定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位を認定する規定を定めているか	学則99条, 108条, 108条の2, 109条	
【特記事項】 資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】 前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学則に基づき学科の教育委員が確認し、農学部教育委員会で審議承認している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】 自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 11. 1年間の授業を行う期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっているか	学則14条-16条	
	令和5年度学年歴	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業開始日と定期試験等の実施が可能な調整期間は学年暦として公開されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 12. 授業期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっているか ・10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げているか	令和5年度学年歴	
	農学部シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
講義、演習、実習科目ごとに単位数に見合う適正な授業回数および実施時期がシラバスに記載されている。シラバスの記載内容はシラバス点検委員による点検が行われている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 13. 授業形態や学修指導法の適切性や学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学修指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか	農学部シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
履修登録前にシラバスが開示され学生は事前に確認したうえで履修している。履修開始後は、LMSの積極的な活用を進めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 14. 教育上主要と認める授業科目の担当教員の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか	教育上主要と認める授業科目（別紙様式4-14-①）	
	農学部シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 16. 履修指導体制、学修相談体制の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか	履修指導の実施状況（別紙様式4-16-①）	
・学生のニーズに応え得る学修相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか	学習相談の実施状況（別紙様式4-16-②）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 各学科の新生オリエンテーションにおいて教育委員が農学部履修案内に基づき履修指導を行っている。また、各学科でクラス担任を設け定期的に履修指導を実施している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 17. キャリア関連科目、インターンシップ等の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式4-17-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 各学科で実務的な実習授業が組まれており、一部の学科ではインターンシップに相当する専門科目も配置されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 18. 履修上特別な支援を要する学生への学修支援の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援を行う体制を整えているか	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式4-18-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
障害がある学生に対しては受験前に希望学科に対して配慮願に対する照会をしており、可能な配慮と対応できない事項を回答している。また、入学後には障害に応じた支援を行っており、特別修学支援室や学生生活委員会を中心に対応をしている。保健管理センターの学生サポーターによる学習支援も実施している。留学生に対しては、グローバル教育院やパディクラブとともに適切な配慮を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 19. 成績評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定しているか	学則29条	
	農学部履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 20. 成績評価基準の周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学生に周知しているか	学則29条	
	農学部履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
科目ごとの具体的な成績評価基準をシラバスに明記し、シラバス点検委員によって点検している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 21. 成績に対する異議申し立ての状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績に対する異議申し立て制度を組織的に設けているか	農学部履修案内2023	
	成績確認制度に関する要項2条, 3条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
全科目を対象として成績交付期間後に異議申し立て期間を設け、担当教員が必ず対応し回答している。必要が認められた場合は農学部教育委員会で確認の上、訂正している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 22. 卒業又は修了要件の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定しているか	学則84条, 85条, 96条, 98条, 104条, 105条, 107条	
	農学部教育規則2条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学科ごとに卒業要件が定められ、農学部履修案内で学生へ周知している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 24. 策定した卒業又は修了要件（学位論文評価基準を含む。）の学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知しているか	農学部履修案内2023	
	学則98条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学科ごとに卒業要件が定められ、農学部履修案内で学生へ周知している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 25. 卒業又は修了の認定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施しているか	第1243回農学研究院・農学府・農学部教授会議事要旨	
	第1249回農学研究院・農学府・農学部教授会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
卒業認定は、学科ごとに定められた必修科目・選択必修科目・自由選択科目等や総単位数をもとに、教育委員と学科長が確認し、教授会において審議・認定している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 26. 標準修了年限内の卒業（修了）率及び「標準修了年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	2022年度卒業・修了率データ（過去5年間の推移）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学部全体のR4年度の卒業率は91%であり、過去5年も同程度であった。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 27. 就職及び進学状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（別紙様式4-27-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学部全体のR4年度の就職希望者に対する就職率は92%、進学率は59%であり、これらは過去5年も同程度であった。主な進学先である本学農学府は常に定員超過しており、適正な水準であると判断した。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（農学府）

評価対象事項 1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか	シラバス入力状況	
	R5-1回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスの入力を通年で依頼し、各プログラムに配置されているシラバス点検委員により確認している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 2. 成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	農学府成績評価分布データ	
	R5-8回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学府教育委員会、農学府運営委員会を通し、各プログラムで確認している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 3. 授業アンケート結果		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	2022年度後期授業アンケート集計結果	
	R5-2回農学府・農学部教育委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業アンケートは履修者が10人以下など回答者が特定できる場合を除き、全科目で実施している。最後の講義次などに実施するよう教員へ周知している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
以前の紙媒体（マークシート方式）よりもWeb方式は回答率が低い。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
農学府教育委員会などを通して学科で教員へアンケート回答時間をとることを徹底してもらうように呼びかける。		

評価対象事項 4. 卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	2022年度卒業生・修了生アンケート集計結果	
	第5-3回農学府・農学部学生生活委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
修士論文発表審査会、学位論文審査会の合い間や指導教員を通して修了生アンケートへの協力を呼びかけている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 5. 学位授与方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学位授与方針が、大学の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されているか	農学府ディプロマ・ポリシー	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学府の各プログラムおよび共同獣医学専攻で教育方針と目指す人材像を掲げ、履修方法を履修案内に示し明確化している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 6. 教育課程方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・教育課程方針において、①教育課程の編成の方針②教育課程における教育・学修方法に関する方針③学習成果の評価の方針、が明確かつ具体的に示されているか	農学府カリキュラム・ポリシー	
・教育課程方針が学位授与方針と整合性を有しているか	農学府カリキュラム・ポリシー 農学府ディプロマ・ポリシー	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学府の各プログラムおよび共同獣医学専攻で教育方針と目指す人材像を掲げ、履修方法を履修案内に示し明確化している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 7. 教育課程の編成の体系的性		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育課程の編成が、体系的性を有しているか	農学府カリキュラムマップ及びフローチャート	
	農学府履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学府の各プログラムおよび共同獣医学専攻で教育方針と目指す人材像を掲げ、履修方法を履修案内に示し明確化している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 8. 授業科目の内容		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっているか	農学府シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
講義、演習科目ごとに単位数に見合う適正な授業回数とその内容がシラバスに記載されている。シラバスの記載内容はシラバス点検委員による点検が行われている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 9. 他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位認定の規定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位を認定する規定を定めているか	学則61条, 76条, 76条の2, 79条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学則に基づき担当の教育委員が確認し、農学府教育委員会で審議承認している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 10. 学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導体制		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導体制が適切に整備され、計画を策定した上で指導されているか	農学府教育規則2条, 7条の2	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学生は指導教員と協議し研究計画を作成し提出している。主指導教員と別の教員の指導を受ける授業が組まれている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 11. 1年間の授業を行う期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっているか	学則14条-16条	
	令和5年度学年歴	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業開始日と定期試験等の実施が可能な調整期間は学年暦として公開されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 12. 授業期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっているか ・10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げているか	令和5年度学年歴	
	農学府シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
講義、演習科目ごとに単位数に見合う適正な授業回数と実施時期がシラバスに記載されている。シラバスの記載内容はシラバス点検委員による点検が行われている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 13. 授業形態や学修指導法の適切性や学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学修指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか	農学府シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
履修登録前にシラバスが開示され学生は事前に確認したうえで履修している。履修開始後は、LMSの積極的な活用を進めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 14. 教育上主要と認める授業科目の担当教員の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか	教育上主要と認める授業科目（別紙様式4-14-①）	
	農学府シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 16. 履修指導体制、学修相談体制の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか	履修指導の実施状況（別紙様式4-16-①）	
・学生のニーズに応え得る学修相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか	学習相談の実施状況（別紙様式4-16-②）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 各プログラムおよび共同獣医学専攻の新入生オリエンテーションにおいて教育委員が農学府履修案内に基づき履修指導を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 17. キャリア関連科目、インターンシップ等の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式4-17-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 学外における研修や演習をとまなう専門科目を配置して単位化している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 18. 履修上特別な支援を要する学生への学修支援の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援を行う体制を整えているか	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式4-18-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
障害がある学生に対しては受験前に希望学科に対して配慮願に対する照会をしており、可能な配慮と対応できない事項を回答している。また、入学後には障害に応じた支援を行っており、特別修学支援室や学生生活委員会を中心に対応をしている。保健管理センターの学生サポーターによる学習支援も実施している。留学生に対しては、グローバル教育院やバディクラブとともに適切な配慮を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 19. 成績評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定しているか	学則29条	
	農学府履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 20. 成績評価基準の周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学生に周知しているか	学則29条	
	農学府履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
科目ごとの具体的な成績評価基準をシラバスに明記し、シラバス点検委員によって点検している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 21. 成績に対する異議申し立ての状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績に対する異議申し立て制度を組織的に設けているか	農学府履修案内2023	
	成績確認制度に関する要項2条, 3条	
【特記事項】 資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】 前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
全科目を対象として成績交付期間後に異議申し立て期間を設け、担当教員が必ず対応し回答している。必要が認められた場合は農学府教育委員会で確認の上、訂正している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】 自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 22. 卒業又は修了要件の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定しているか	学則72条, 74条, 75条	
	農学府教育規則3条, 3条の2	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
各プログラムおよび共同獣医学専攻ごとに修了要件が定められ、農学府履修案内で学生へ周知している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 23. 学位論文又は特定の課題についての評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定しているか	学位規程	
	東京農工大学大学院農学府修士課程学位審査取扱要項	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 24. 策定した卒業又は修了要件（学位論文評価基準を含む。）の学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知しているか	農学府履修案内2023	
	農学府に係る学位論文審査基準等について	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
各プログラムおよび共同獣医学専攻ごとに修了要件が定められ、農学府履修案内で学生へ周知している。また、学位論文審査基準をHPで周知し、その案内を農学府履修案内に掲載している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 25. 卒業又は修了の認定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施しているか	第1243回農学研究院・農学府・農学部教授会議事要旨	
	第1249回農学研究院・農学府・農学部教授会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
修了認定は、各プログラムおよび共同獣医学専攻で定められた授業・演習・論文関係科目等や総単位数をもとに、教育委員等が確認し、学位論文の審査結果とともに教授会において審議・認定している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 26. 標準修了年限内の卒業（修了）率及び「標準修了年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	2022年度卒業・修了率データ（過去5年間の推移）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学府修士課程のR4の修了率は93%であり、過去5年も同程度であった。農学府共同獣医学専攻のR4の修了率は46%であり前年もほぼ同様であった。共同獣医学専攻は社会人学生が多く長期履修制度を利用していることから適切な水準と判断した。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 27. 就職及び進学状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（別紙様式4-27-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
農学府修士課程のR4年度の就職希望者に対する就職率は92%、博士課程への進学率は11%であり、これらは過去5年も同程度であった。主な進学先である連合農学研究科は常に定員超過しており、適正な水準であると判断した。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（工学部）

評価対象事項 1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか	工学部シラバス2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
シラバスの入力状況は新学修管理システム(SIRIUS)で入力状況を把握することが可能であり、未入力の状況があれば授業担当教員に入力依頼を行う。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスの入力は通年で依頼されるが、入力期間の案内が各教員に伝達されるとともに、入力期間後に各専攻・学科に配置されているシラバス点検委員により未入力科目や内容が不十分・不適切でないかを確認している。改善が必要なシラバスについては、シラバス点検委員より直接各教員に差し戻しが行われている。非常勤科目については教育委員もしくは窓口教員が入力の上、非常勤教員に確認を求めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 2. 成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	●成績評価の分布表 ・工学部の成績分布（2023年度前期）	
	●成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： 第2023-8回教育委員会議事要旨	
	●GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料 ・2023年度工学部履修案内（P30）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学部ではR4年度より、従来は専攻や学科単位の統計的な成績分布による点検であったものを、学科長等・科目長等による科目ごとの成績分布による点検方式に変更した。成績は絶対評価を基本としているが、著しい成績分布の偏りがある場合には、到達基準の設定の適切性や試験問題に工夫が見られるかなどの確認を行い、是正を求めるなどの絶対評価における評価適切性を担保する取り組みを開始し、R6年度より全学的に導入される予定である。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 3. 授業アンケート結果		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	授業アンケート（2022前期_授業アンケート集計報告） ●成績評価の分布表 ・工学府の成績分布（2023年度前期）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 授業アンケートは、履修人数が10人以下もしくは指導教員が確定している卒業論文などを除き、全科目で実施している。学期末の定期試験前の最後の講義等に実施を求めており、事前に教員にメールによる周知等を行っている。 なお、R5年度後期からはSIRIUSによる授業アンケートに変更されるため、本年度の結果を受けて次年度以降の対応を決定する。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須） 授業アンケートはWebによる提出を基本としているが、マークシートに比べて提出率が低下している。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須） 教員に対してはアンケートを取ることを忘れることがないよう、教育委員を通して周知するとともに、学生に対しても授業アンケートへの協力を呼びかけている。		

評価対象事項 4. 卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	2022年度卒業生・修了生アンケート集計結果	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
アンケートの回収を確実にするために指導教員などを通して卒業生・修了生アンケートへの協力を呼びかけている。提出率も56%であり、十分に教育効果を検証できる状況であるが、一層の提出率向上を目指した工夫を行う予定である。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
指導教員を通して直接学生に協力を呼びかけるとともに、運営委員会などで各教員に周知を徹底し、さらにSIRIUSを通して対象学生に周知を行う。		

評価対象事項 5. 学位授与方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学位授与方針が、大学の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されているか	工学部ディプロマ・ポリシー (2023工学部履修案内(P.3-4))	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学部においては各学科ごとに人材輩出の理念と目的をもとにしたディプロマ・ポリシーが定められており、それに基づいて4つの観点からなるカリキュラム・ポリシーが定められている。		
工学部履修案内には各科目がカリキュラム・ポリシーの各観点に紐づけされており、各科目の履修が、学位の理念や目的に則していることが明確化されている。		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 6. 教育課程方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・教育課程方針において、①教育課程の編成の方針②教育課程における教育・学修方法に関する方針③学習成果の評価の方針、が明確かつ具体的に示されているか	工学部カリキュラム・マップ、カリキュラム・フロー(2023工学部履修案内P8-19・P51-99)	
・教育課程方針が学位授与方針と整合性を有しているか	工学部カリキュラム・マップ、カリキュラム・フロー(2023工学部履修案内P8-19・P51-99) 工学部ディプロマ・ポリシー (2023工学部履修案内(P3-4))	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学部カリキュラム・ポリシーに基づき、学科単位で教育カリキュラムと各科目が配置されており、それらの科目は4つの観点ごとに学修の目的が明確化されている。		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 7. 教育課程の編成の体系性		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育課程の編成が、体系性を有しているか	●体系性が確認できる資料 工学部カリキュラム・マップ、カリキュラム・フロー(2023工学部履修案内P8-19・P51-99) 工学部ディプロマ・ポリシー (2023工学部履修案内(P3-4))	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学科ごとに定められたディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づき、体系化された授業科目が配置されている。授業科目の体系化は、カリキュラム・マップやカリキュラム・フローにより可視化されている。 工学部履修案内などにより各学生に配布されている。		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 8. 授業科目の内容		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっているか	工学部シラバス2023	
	令和2年度受審大学機関別認証評価の評価結果報告書	
	令和5年度自己点検・評価の実施体制・規程	
	教育・学生生活委員会資料【資料3-5】教育課程と学修成果に関する自己点検・評価のデータ提供（シラバス入力状況）について	
	東京農工大学学則(27条)	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業内容は、15回の講義の各回の教授内容や目的や到達基準などとともにシラバスに記載されている。シラバスに記載された授業の内容については、シラバス点検委員などにより点検されているとともに、到達基準が著しく高くもしくは低く設定されている疑いがある場合には、学科長より成績分布の著しい偏りに対して改善が求められる。これにより学位により相応しい水準が担保されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 9. 他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位認定の規定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位を認定する規定を定めているか	国立大学法人東京農工大学学則 99, 108, 108条の2, 109条 工学部履修案内2023 P101-102	
	大学間相互単位互換協定に関する申合せ 工学部第3年次編入学学生募集要項 P12	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
他大学で既習単位がある学生や編入学生に対しては、工学部教育規則第5条に基づき、教育委員もしくは編入学委員が対応することを規定により定めている。また、工学府・工学部学生国際交流プログラム小委員会で確認の上、教育委員会において単位付与を行っている。これらは東京農工大学工学府・工学部学生国際交流プログラム小委員会細則などにより定められている。セメスター派遣中の単位については事前研修の受講を課すことで、セメスター派遣での学修効果をさらに高めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 11. 1年間の授業を行う期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっているか	国立大学法人東京農工大学学則 14-16条 令和5年度学年暦	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
1年の授業期間については、授業開講日と定期試験期間は学年暦により通年で公開されている。これらは原則として農学部と工学部において事前調整を行っており、教育研究評議会において最終決定されている。		
授業期間については学則第15条により定められており、公表されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 12. 授業期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっているか ・10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げているか	工学部シラバス2023	
	令和5年度学年暦	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業については15回の開講を基本としており、各回ごとの内容を年度初めに通年で公開できるように取り組んでいる。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 13. 授業形態や学修指導法の適切性や学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学修指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか	工学部シラバス2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 シラバスにより講義形態や15回の講義の各回ごとの内容が履修登録前に開示され、履修前に学生からも確認できるようになっている。また、オンライン講義や、オンライン講義と対面講義の併用も認められているが、教育効果が適切であるかを教育委員会において確認の上、承認を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 14. 教育上主要と認める授業科目の担当教員の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか	工学部シラバス2023	
	教育上主要と認める授業科目（別紙様式）必修&選択必修数2023	別紙様式
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
原則として教育上主要と認められる科目は従来の定義に基づく専任教員が担当することになっており、教員の採用においても主要科目が担当可能な教員を確保できるように可能な限り配慮を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 16. 履修指導体制、学修相談体制の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか	履修指導の実施状況	別紙様式
・学生のニーズに応え得る学修相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか	学修相談の実施状況	別紙様式
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
新入生に対しては各学科オリエンテーションにおいて工学部履修案内に基づいた説明を教育委員が行っている。 また、その他学年においても全学科にクラス担任名簿と連絡先を公表しており、必要に応じて学修相談できる窓口となっている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 17. キャリア関連科目、インターンシップ等の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組	
	2023インターンシップ単位認定について	
	【学部】インターンシップ履修者一覧	別紙様式
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
インターンシップに関わる専門科目を設置し、派遣先の評価と本学の基準に基づき単位化している。また、ベンチャービジネス論や知的財産・特許法などの実務関連科目を工学部共通科目やグローバル展開科目として配置している。		
さらに一部の学科においては国家資格の取得を目指した実務科目を配置しており、毎年多くの国家資格合格者を輩出し、キャリアパスの構築に貢献している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 18. 履修上特別な支援を要する学生への学修支援の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援を行う体制を整えているか	2022年度チューターリスト	
	チューターのためのマニュアル（2023年度版）	
	工学部シラパス2023(日本語・英語版)	
	障害のある学生に対する支援	
	障害を理由とする差別の解消の推進に関する役職員対応要領	
	特別修学支援室要項	
	特別修学支援体制図	
	学習相談室案内	
	2022年度修学支援室の活動報告	
	小金井キャンパスバリアフリーマップ	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
障害がある学生に対しては受験前に希望学科に対して配慮願に対する照会をしており、可能な配慮と対応できない事項を回答している。また、入学後には障害に応じた支援を行っており、特別修学支援室や学生生活委員会を中心に対応をしている。保健管理センターの学生サポーターによる学習支援も実施している。留学生に対しては、グローバル教育院やバディクラブとともに適切な配慮を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 19. 成績評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定しているか	国立大学法人東京農工大学学則 29条	
	工学部履修案内2023 P36	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
成績評価基準は、本学学則第29条により定められ、学科ごとのディプロマポリシーにより学科ごとの授与方針が公開されている。また、各科目との整合性は学科ごとに定めたカリキュラム・ポリシーに基づいている。		
カリキュラム上の各科目のより具体的な評価方法についてはシラバスにより科目ごとに定められている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 20. 成績評価基準の周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学生に周知しているか	国立大学法人東京農工大学学則 29条	
	工学部履修案内2023 P36	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
評価と評点は学則第29条に定められており、学生に周知されている。さらに具体的な達成目標・評価基準については科目ごとにシラバスにより公開されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 21. 成績に対する異議申し立ての状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績に対する異議申し立て制度を組織的に設けているか	【工学部・工学府】成績確認申請の流れ	
	申し立ての内容及びその対応、申し立ての件数等の資料・データ(工学部)	
	2023年度工学部履修案内(P36)	
	国立大学法人東京農工大学法人文書管理規程	
	成績確認制度に関する申し合わせ(2019年12月4日教育委員会承認)	
	成績確認制度に関する要項	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学府・工学部では成績交付期間後に組織的な異議申し立て期間を設置し、担当教員は全ての申し立てに対して確認・対応をする義務を負っている。R5年度前期には111件の学生からの異議申し立てがあり、確認の上訂正が行われたのは4件であった。訂正が不要と判断されたのは107件であった。		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 22. 卒業又は修了要件の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定しているか	東京農工大学学位規程(2・3・4条)	
	東京農工大学学則(98条)	
	2023年度工学部履修案内(P27, 28)	
	東京農工大学工学部教育規則(6・7条)	
	国立大学法人東京農工大学部局組織運営規程	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学科ごとに定められたディプロマ・ポリシーに基づき、学科ごとに卒業要件の方針を策定している。卒業要件については学生便覧ならびに工学部履修案内を通して学生に周知されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 24. 策定した卒業又は修了要件（学位論文評価基準を含む。）の学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知しているか	工学部シラバス	
	東京農工大学学則(98条)	
	2023年度工学部履修案内(P27, 28)	
	東京農工大学工学部教育規則(6・7条)	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
卒業要件については工学部履修案内などを通して学生に周知されており、卒業論文における評価方法については学則第100条、工学部教育規則第6条に定められ、公開されている。		
卒業論文における評価基準については学科ごとにシラバスを通して学生に周知されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 25. 卒業又は修了の認定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施しているか	工学教育部教授会審議事項について	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
卒業認定は、学科ごとに定められたディプロマポリシーに基づき、定められた必修科目・選択必修科目・自由選択科目等や総単位数をもとに教授会において認定している。		
卒業論文の評価基準についてはシラバスに記載された基準に基づき組織的に審議されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 26. 標準修了年限内の卒業（修了）率及び「標準修了年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	2019-2022年度学生表彰者一覧	別紙様式
	取得資格一覧(2023年度)	
	工学府・工学部卒業修了率	別紙様式
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
標準修了年限による卒業者は毎年確認を学科ごとに行っており、工学部におけるR4年度の標準年限卒業率は87%であった。これらは過年度の推移と同水準であり、適切な卒業率であると分析している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 27. 就職及び進学状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	【工学部】就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（過去5年分）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 毎年度ごとに進路調査を行っている。工学部における大学院進学率は過去5年間平均で約80%であり、就職率は15%である。留学生の帰国による前述の数値に反映されない値を考慮すると概ね適切な水準で進学または就職が行われていると判断できる。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（工学府）

評価対象事項 1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか	工学府シラバス2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
シラバスの入力状況は新学修管理システム(SIRIUS)で入力状況を把握することが可能であり、未入力の状況があれば授業担当教員に入力依頼を行う。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスの入力は通年で依頼されるが、入力期間の案内が各教員に伝達されるとともに、入力期間後に各専攻・学科に配置されているシラバス点検委員により未入力科目や内容が不十分・不適切でないかを確認している。改善が必要なシラバスについては、シラバス点検委員より直接各教員に差し戻しが行われている。非常勤科目については教育委員もしくは窓口教員が入力の上、非常勤教員に確認を求めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 2. 成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	●成績評価の分布表 工学府の成績分布（2022年度）	
	●成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： 第2023-8回教育委員会議事要旨	
	●成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料： 令5-3回教育・学生生活委員会（資料3-2-1）	
	●GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料 東京農工大学における GPA 制度に関する要項	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学部ではR4年度より、従来は専攻や学科単位の統計的な成績分布による点検であったものを、学科長等・科目長等による科目ごとの成績分布による点検方式に変更した。成績は絶対評価を基本としているが、著しい成績分布の偏りがある場合には、到達基準の設定の適切性や試験問題に工夫が見られるかなどの確認を行い、是正を求めるなどの絶対評価における評価適切性を担保する取り組みを開始し、R6年度より全学的に導入される予定である。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 3. 授業アンケート結果		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	2022前期_授業アンケート集計報告 ●成績評価の分布表 ・工学府の成績分布（2022年度）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 授業アンケートは、履修人数が10人以下もしくは指導教員が確定している卒業論文などを除き、全科目で実施している。学期末の定期試験前の最後の講義等に実施を求めており、事前に教員にメールによる周知等を行っている。 なお、R5年度後期からはSIRIUSによる授業アンケートに変更されるため、本年度の結果を受けて次年度以降の対応を決定する。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須） 授業アンケートはWebによる提出を基本としているが、マークシートに比べて提出率が低下している。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須） 教員に対してはアンケートを取ることを忘れることがないよう、教育委員を通して周知するとともに、学生に対しても授業アンケートへの協力を呼びかけている。		

評価対象事項 4. 卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	2022年度卒業生・修了生アンケート集計結果	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 アンケートの回収を確実にするために指導教員などを通して卒業生・修了生アンケートへの協力を呼びかけている。提出率も56%であり、十分に教育効果を検証できる状況であるが、一層の提出率が向上するように工夫をしている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須） 指導教員を通して直接学生に協力を呼びかけるとともに、運営委員会などで各教員に周知を徹底し、さらにSIRIUSを通して対象学生に周知を行う。		

評価対象事項 5. 学位授与方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学位授与方針が、大学の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されているか	工学府ディプロマ・ポリシー(工学府履修案内P2-8)	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 工学府においては各学科ごとに人材輩出の理念と目的をもとにしたディプロマ・ポリシーが定められており、それに基づいて4つの観点からなるカリキュラム・ポリシーが定められている。 工学府履修案内には各科目がカリキュラム・ポリシーの各観点到に紐づけされており、各科目の履修が、学位の理念や目的に則していることが明確化されている。		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 6. 教育課程方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・教育課程方針において、①教育課程の編成の方針②教育課程における教育・学修方法に関する方針③学習成果の評価の方針、が明確かつ具体的に示されているか	工学府カリキュラム・マップ、カリキュラム・フロー(工学府履修案内2023・P2-8・P33-65)	
	設置の趣旨等を記載した書類(工学府改組にかかる申請書類)	
・教育課程方針が学位授与方針と整合性を有しているか	工学府カリキュラムポリシー(工学府履修案内2023・P2-8・P33-65)	
	工学府ディプロマ・ポリシー(工学府履修案内2023・P2-8)	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学府カリキュラム・ポリシーに基づき、学科単位で教育カリキュラムと各科目が配置されており、それらの科目は4つの観点ごとに学修の目的が明確化されている。		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 7. 教育課程の編成の体系性		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育課程の編成が、体系性を有しているか	●体系性が確認できる資料（カリキュラム・マップ、コース・ツリー、ナンバリング等） 工学府カリキュラム・マップ、カリキュラム・フロー 工学府ディプロマ・ポリシー（工学府履修案内2023・P2-8）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
選考ごとに定められたディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づき、体系化された授業科目が配置されている。授業科目の体系化は、カリキュラム・マップやカリキュラム・フローにより可視化されている。 工学府履修案内などにより各学生に配布されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 8. 授業科目の内容		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっているか	工学府シラバス2023	
	令和2年度受審大学機関別認証評価の評価結果報告書	
	令和5年度自己点検・評価の実施体制・規程	
	教育・学生生活委員会資料【資料3-5】教育課程と学修成果に関する自己点検・評価のデータ提供（シラバス入力状況）について 東京農工大学学則(27条)	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業内容は、15回の講義の各回の教授内容や目的や到達基準などとともにシラバスに記載されている。シラバスに記載された授業の内容については、シラバス点検委員などにより点検されているとともに、到達基準が著しく高くもしくは低く設定されている疑いがある場合には、専攻長より成績分布の著しい偏りに対して改善が求められる。これにより学位により相応しい水準が担保されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 9. 他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位認定の規定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位を認定する規定を定めているか	国立大学法人東京農工大学学則 99, 108, 108条の2, 109条 工学府履修案内2023	
	大学間相互単位互換協定に関する申合せ	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
他大学で既習単位がある学生や編入学生に対しては、工学部教育規則第5条に基づき、教育委員もしくは編入学委員が対応することを規定により定めている。また、工学府・工学部学生国際交流プログラム小委員会で確認の上、教育委員会において単位付与を行っている。これらは東京農工大学工学府・工学部学生国際交流プログラム小委員会細則などにより定められている。Semester派遣中の単位については事前研修の受講を課すことで、Semester派遣での学修効果をさらに高めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 10. 学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導体制		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導体制が適切に整備され、計画を策定した上で指導されているか	「研究題目届」兼「研究指導計画書」（様式1）	
	東京農工大学大学院工学府教育規則	
	株式会社日立製作所中央研究所との教育研究に対する連携・協力に関する協定書・覚書	
	国際基督教大学との単位互換、学生の研究指導の相互委託及び受託に関する覚書	
	国際基督教大学との間における「アカデミック・トレーニング」に関する覚書	
	財団法人鉄道総合技術研究所との教育研究に対する連携・協力に関する協定書	
	三菱化学株式会社横浜総合研究所との教育研究に対する連携・協力に関する協定書	
	上智大学大学院地球環境学研究所との間における相互単位互換に関する協定書・実施要項	
	独立行政法人国立精神・神経医療研究センターとの教育研究協力に関する協定書・覚書	
	独立行政法人産業技術総合研究所との教育研究に対する連携・協力に関する協定書・覚書・通知	
	国立大学法人東京農工大学ティーチング・アシスタント実施要項	
	国立大学法人東京農工大学リサーチ・アシスタント実施要項	
	TAセミナー開催案内	
	Googleクラスルーム_令和5年度TAセミナー	
	Googleクラスルーム「令和5年度TAセミナー」の授業ページ	
	APRIN eラーニングプログラム	
	オリエンテーション研究倫理資料	
	研究倫理教育（学生向け案内）	
	東京農工大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程	
	2022年度「国際学会派遣プログラム」募集要項	
海外研究留学プログラム(大学HP)		
【工学府】2022TARA勤務時間数表(原本)		
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		

【分析項目に対する自己評価】
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分
【優れた成果が確認できる取組】
学生は指導教員との相談の上で、研究計画を毎年度策定し、その際に博士後期課程の学生においては投稿予定の雑誌と時期について可能な範囲で記載を求めている。また、研究計画に対応した研究指導計画を年度ごとに策定し、学府長に提出している。学生が研究に関する助言や相談窓口として指導教員以外のサポート体制を確立するため、学生ごとに副指導教員を2名配置している。
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）
【結果を踏まえた対応計画】 自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）

評価対象事項 11. 1年間の授業を行う期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっているか	東京農工大学学則	
	令和5年度学年暦	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
1年の授業期間については、授業開講日と定期試験期間は学年暦により通年で公開されている。これらは原則として農学府と工学府において事前調整を行っており、教育研究評議会において最終決定されている。		
授業期間については学則第15条により定められており、公表されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 12. 授業期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっているか ・10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げているか	工学府シラバス2023	
	令和5年度学年暦	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
授業については15回の開講を基本としており、各回ごとの内容を年度初めに通年で公開できるように取り組んでいる。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 13. 授業形態や学修指導法の適切性や学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学修指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか	工学部シラパス2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラパスにより講義形態や15回の講義の各回ごとの内容が履修登録前に開示され、履修前に学生からも確認できるようになっている。また、オンライン講義や、		
オンライン講義と対面講義の併用も認められているが、教育効果が適切であるかを教育委員会において確認の上、承認を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 14. 教育上主要と認める授業科目の担当教員の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか	教育上主要と認める授業科目（別紙様式）必修&選択必修数_工学府	別紙様式
	工学府シラバス2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
原則として教育上主要と認められる科目は従来の定義に基づく専任教員が担当することになっており、教員の採用においても主要科目が担当可能な教員を確保できるように可能な限り配慮を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 15. 専門職学位課程におけるCAP制度の規定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
専門職学位課程においては、履修登録の上限設定の制度（CAP制度）を適切に設けているか	東京農工大学大学院工学府教育規則（第8条の3_履修科目の登録の上限）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 産業技術専攻においては年間32単位のキャップ制を課している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 16. 履修指導体制、学修相談体制の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか	履修指導の実施状況	別紙様式
・学生のニーズに応え得る学修相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか	学修相談の実施状況	別紙様式
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
新入生に対しては各専攻のオリエンテーションにおいて工学府履修案内に基づいた説明を教育委員が行っている。 また、組織として学生の学修相談や助言・支援が行えるように副指導教員の選定を各年度行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 17. キャリア関連科目、インターンシップ等の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組	
	【大学院】インターンシップの単位認定について	
	【大学院】インターンシップ実施届（実施1週間前までに提出）	
	R5年度大学院インターンシップ実施者	別紙様式
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
インターンシップに関わる専門科目を設置し、派遣先の評価と本学の基準に基づき単位化している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 18. 履修上特別な支援を要する学生への学修支援の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援を行う体制を整えているか	小金井キャンパスバリアフリーマップ	
	障害のある学生に対する支援	
	障害を理由とする差別の解消の推進に関する役職員対応要領	
	特別修学支援室要項	
	特別修学支援体制図	
	学習相談室案内	
	2022年度修学支援室の活動報告	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
障害がある学生に対しては受験前に希望学科に対して配慮願に対する照会をしており、可能な配慮と対応できない事項を回答している。また、入学後には障害に応じた支援を行っており、特別修学支援室や学生生活委員会を中心に対応をしている。保健管理センターの学生サポーターによる学習支援も実施している。留学生に対しては、グローバル教育院やバディクラブとともに適切な配慮を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 19. 成績評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定しているか	国立大学法人東京農工大学学則 29条	
	工学府履修案内2023 P14	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
成績評価基準は、本学学則第29条により定められ、専攻ごとのディプロマポリシーにより専攻ごとの授与方針が公開されている。また、各科目との整合性は学科ごとに定めたカリキュラム・ポリシーに基づいている。		
カリキュラム上の各科目のより具体的な評価方法についてはシラバスにより科目ごとに定められている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 20. 成績評価基準の周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学生に周知しているか	国立大学法人東京農工大学学則 29条 工学府履修案内2023 P14	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
評価と評点は学則第29条に定められており、学生に周知されている。さらに具体的な達成目標・評価基準については科目ごとにシラバスにより公開されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 21. 成績に対する異議申し立ての状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績に対する異議申し立て制度を組織的に設けているか	【工学部・工学府】成績確認申請の流れ	
	申し立ての内容及びその対応、申し立ての件数等の資料・データ(工学府)	
	2023年度工学部履修案内(P36)	
	国立大学法人東京農工大学法人文書管理規程	
	成績確認制度に関する申し合わせ(2019年12月4日教育委員会承認)	
	成績確認制度に関する要項	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
工学府・工学部では成績交付期間後に組織的な異議申し立て期間を設置し、担当教員は全ての申し立てに対して確認・対応をする義務を負っている。R5年度前期には3件の学生からの異議申し立てがあり、		
確認の上訂正が行われたのは1件、訂正が不要と判断されたのは2件であった。		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 22. 卒業又は修了要件の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定しているか	東京農工大学学位規程(2・3・4条)	
	東京農工大学学則(98条)	
	2023年度工学府履修案内(P27, 28)	
	東京農工大学工学府教育規則(3・4条)	
	東京農工大学大学院工学府学位審査取扱要項	
	国立大学法人東京農工大学部局組織運営規程	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
専攻ごとに定められたディプロマ・ポリシーに基づき、専攻ごとに卒業要件の方針を策定している。卒業要件については学生便覧ならびに工学府履修案内を通して学生に周知されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 23. 学位論文又は特定の課題についての評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定しているか	東京農工大学学位規程(2・3・4条)	
	東京農工大学学則(72条)	
	東京農工大学工学府教育規則(11・12・13条)	
	東京農工大学大学院工学府学位審査取扱要項	
	東京農工大学学位審査機構の運営に関する規程	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学位論文における審査手続きは東京農工大学工学府学位審査取扱要項により定められている。評価基準においては東京農工大学学位規定第3条により定められている。		
【改善を要する事項】(自己評価を2.または1.とした場合は必須)		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載(【改善を要する事項】を記載した場合は必須)		

評価対象事項 24. 策定した卒業又は修了要件（学位論文評価基準を含む。）の学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知しているか	2023年度工学府履修案内 P10	
	東京農工大学学則(72条)	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
卒業要件については工学府履修案内などを通して学生に周知されている。		
また学位論文における評価基準については専攻ごとに履修案内を通して学生に周知されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 25. 卒業又は修了の認定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施しているか	東京農工大学学位規程	
	東京農工大学学位審査機構の運営に関する規程	
	東京農工大学大学院工学府学位審査取扱要項	
	東京農工大学学則	
	東京農工大学工学府教育規則	
	工学教育部教授会審議事項について	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
修了認定は、学科ごとに定められたディプロマポリシーに基づき、定められた必修科目・選択必修科目・自由選択科目等や総単位数をもとに教授会において認定している。		
学位論文の評価基準についてはシラバスに記載された基準に基づき組織的に審議されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 26. 標準修了年限内の卒業（修了）率及び「標準修了年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	2019-2022年度学生表彰者一覧	
	取得資格一覧(2023年度)	
	工学府・工学部卒業修了率	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
博士後期課程については社会人学生が多いという特殊要因があるため、標準修了年限内修了率は40%に留まる。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
標準修了年限による修了者は毎年確認を学科ごとに行っており、工学府におけるR4年度の標準年限修了率は博士前期96%これらは過年度の推移と同水準であり、適切な修了率であると分析している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 27. 就職及び進学状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	【工学府】就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（過去5年分）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 毎年度ごとに進路調査を行っている。博士前期から博士後期課程への進学率は過去5年間平均で6%程度であり、就職率は91%である。 留学生の帰国による前述の数値に反映されない値を考慮すると概ね適切な水準で進学または就職が行われていると判断できる。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（生物システム応用科学府）

評価対象事項 1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか	4-1-1-①_2022BASE生物機能システム科学専攻博士前期シラバス	
	4-1-1-②_2022BASE生物機能システム科学専攻博士後期シラバス	
	4-1-1-③_2022BASE一貫制博士課程シラバス	
	4-1-1-④_2022BASE共同先進健康科学専攻シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
シラバスの未記入率は、生物機能システム科学専攻博士前期4.7%、生物機能システム科学専攻博士後期3.7%、一貫制博士課程15%、共同先進健康科学専攻1.6%で、一貫制博士課程がやや多い。一貫制博士課程は集中講義が多く、集中講義の場合は、科目ごとに授業の日程・概要が固まったら学生にEメールにて、日程・概要・日時・単位数等を周知し、履修の案内をしている。		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
学務委員会委員が、シラバス点検委員となっており、集中講義の時期にもシラバスの点検をおこなうこととする。		
学生への授業の案内を補完するため、Google クラウドルームを活用している。		

評価対象事項 2. 成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	●成績評価分布等のデータを関係委員会等で確認するなど組織的に確認していることに関する資料	
	・4-2-1-①_令和4年度成績評価の点検体制について	
	・4-2-1-②_2022-7回生物システム応用科学府学務委員会議事要旨	
	●成績評価の分布表	
	・4-2-2-①_令和4年度生物システム応用科学府の成績分布	
	●GPA制度の目的と実施状況についてわかる資料 →大学院にGPAなし。	
	●（個人指導等が中心となる科目の場合）成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料 →個人指導が中心になる科目なし。	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 3. 授業アンケート結果		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	・4-3-1-①_2022年度BASE授業アンケート結果	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4. 卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	●学生からの意見聴取（学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査、懇談会、インタビュー等）の概要及びその結果が確認できる資料	
	・4-4-1-①_2022年度卒業生・修了生アンケート集計結果（総評）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 5. 学位授与方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学位授与方針が、大学の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されているか	●公表された学位授与方針	
	・4-5-1-①_生物システム応用科学専攻のディプロマ・ポリシー	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 6. 教育課程方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・教育課程方針において、①教育課程の編成の方針②教育課程における教育・学修方法に関する方針③学習成果の評価の方針、が明確かつ具体的に示されているか	●公表された教育課程方針	
	・4-6-1-①_生物システム応用科学府のカリキュラムポリシー	
・教育課程方針が学位授与方針と整合性を有しているか	●公表された教育課程方針及び学位授与方針	
	・4-6-2-①_生物システム応用科学専攻のディプロマ・ポリシー	【再掲】
	・4-6-1-①_生物システム応用科学府のカリキュラムポリシー	【再掲】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 7. 教育課程の編成の体系性		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育課程の編成が、体系性を有しているか	●体系性が確認できる資料（カリキュラム・マップ、コース・ツリー、ナンバリング等）	
	・4-7-1-①_生物機能システム科学専攻履修案内	
	・4-7-1-②_食料エネルギーシステム科学専攻履修案内	
	・4-7-1-③_共同先進健康科学専攻履修案内	
	・4-7-2-①_生物システム応用科学府のコースツリー	
	●授業科目の開設状況が確認できる資料（コース、教養・専門基礎・専門等の分類、年次配当、必修・選択等の別）	
	・4-7-3-①_生物システム応用科学府の教育課程表（履修案内抜粋）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
学務委員会が管理する科目（課題解決型演習Ⅰ～Ⅲ、基礎技術演習Ⅰ・Ⅱ、実践発表）を設けてカリキュラムポリシーに沿った一貫したカリキュラムを提供している。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学生が自ら課題を発見・解決をする能力を身に着けさせるため、研究室の枠組みを超えて学生参加型の双方型科目を用意することで、その後、学生が能動的に研究活動をできるように取り計らっている。科目：課題解決型演習Ⅰ～Ⅲ（社会課題の発見・解決）、基礎技術演習Ⅰ（大学院レベルの研究リテラシーを身に着ける）・Ⅱ（他の研究室にて実験）、研究指導B・C（一貫制博士課程のみ。他の研究室にて3～6カ月の研究指導を受ける。字内のみならず他大学、外国の研究室でも可能）		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 8. 授業科目の内容		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっているか	●シラバス	
	・4-8-1-①_2022BASE生物機能システム科学専攻博士前期シラバス	【再掲】
	・4-8-1-②_2022BASE生物機能システム科学専攻博士後期シラバス	【再掲】
	・4-8-1-③_2022BASE一貫制博士課程シラバス	【再掲】
	・4-8-1-④_2022BASE共同先進健康科学専攻シラバス	【再掲】
	●その他自己点検・評価において体系的な水準に関する検証を実施している場合はその状況がわかる資料	
	・4-8-2-①_令和2年度受審大学機関別認証評価の評価結果報告書	
	・4-8-2-②_令和5年度自己点検・評価の実施体制・規程	
	・4-8-2-③_【資料3-5】教育課程と学修成果に関する自己点検・評価のデータ提供（シラバス入力状況）について	
	●学則等の授業科目の時間数に関する規定（R5追記）	
・4-8-3-①_東京農工大学学則27条		
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 9. 他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位認定の規定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位を認定する規定を定めているか	●明文化された規定類	
	・4-9-1-①_国立大学法人東京農工大学学則 61, 76, 76条の2, 79条	
	・4-9-1-②_東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則 6条	
	・4-9-1-③_上智大学大学院地球環境学研究科との間における相互単位互換に関する実施要項	
	・4-9-1-④_国際基督教大学との間における連携・協力の推進に関する基本協定書	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 10. 学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導体制		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導体制が適切に整備され、計画を策定した上で指導されているか	●研究指導、学位論文（特定課題研究の成果を含む。）指導体制が確認できる資料（規定、申合せ等）	
	・4-10-1-①_東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則 2.9,10条,別紙様式1	
	●研究指導計画書、研究指導報告書等、指導方法が確認できる資料	
	・4-10-1-①_東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則 2.9,10条,別紙様式1	【再掲】
	●国内外の学会への参加を促進している場合は、その状況が確認できる資料	
	・4-10-2-①_2022年度「国際学会派遣プログラム」募集要項	
	・4-10-2-②_2023海外研究留学プログラムURL	
	・4-10-2-③_食料エネルギーシステム科学専攻_国際学会参加支援案内	
	●他大学や産業界との連携により、研究指導を実施している場合は、その状況が確認できる資料	
	・4-10-3-①_上智大学大学院地球環境学研究所との間における相互単位互換及び特別研究生交流に関する協定書	
	・4-10-3-②_国際基督教大学との間における連携・協力の推進に関する基本協定書	
	●研究倫理に関する指導が確認できる資料	
	・4-10-4-①_研究倫理に関する指導が確認できる資料URL	
	・4-10-4-②_東京農工大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程	
	・4-10-4-③_研究倫理・教育 _ 東京農工大学研究ポータル	
	・4-10-4-④_ APRIN eラーニングプログラム (eAPRIN)	
	●TA・RAとしての活動を通じた能力の育成、教育的機能の訓練を行っている場合は、TA・RAの採用、活用状況が確認できる資料	
	・4-10-5-①_国立大学法人東京農工大学ティーチング・アシスタント実施要項 2-8条	
	・4-10-5-②_国立大学法人東京農工大学リサーチ・アシスタント実施要項 3-10条	
	・4-10-5-③_【BASE】2022TARA勤務時間数表	
・4-10-5-④_TAセミナー開催案内		
・4-10-5-⑤_TAセミナーGoogleクラスルームURL		
・4-10-5-⑥_Googleクラスルーム_令和5年度TAセミナー		
・4-10-5-⑦_Googleクラスルーム「令和5年度TAセミナー」の授業ページ		
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		

<p>【分析項目に対する自己評価】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分</p>
<p>【優れた成果が確認できる取組】</p> <p>一貫制博士課程（食料エネルギーシステム科学専攻）では、学生の国際学会参加を促すため、学内旅費規程に従い、旅費・学会参加費の支援をしている。</p>
<p>【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）</p>
<p>【結果を踏まえた対応計画】 自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）</p>

評価対象事項 11. 1年間の授業を行う期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっているか	● 1年間の授業を行う期間が確認できる資料（学年暦、年間スケジュール等）	
	・ 4-11-1-①_国立大学法人東京農工大学学則 14-16条	
	・ 4-11-1-②_令和5年度学年歴	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 12. 授業期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっているか ・10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げているか	● 1年間の授業を行う期間が確認できる資料（学年暦、年間スケジュール等）	
	・ 4-12-1-①_2023_BASE学年暦	
	・ 4-12-1-②_2023_BASE時間割	
	● シラバス	
	・ 4-12-2-①_2022BASE生物機能システム科学専攻博士前期シラバス	【再掲】
	・ 4-12-2-②_2022BASE生物機能システム科学専攻博士後期シラバス	【再掲】
	・ 4-12-2-③_2022BASE一貫制博士課程シラバス	【再掲】
・ 4-12-2-④_2022BASE共同先進健康科学専攻シラバス	【再掲】	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 13. 授業形態や学修指導法の適切性や学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学修指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか	●シラバスの全件、全項目が確認できる資料（電子シラバスのデータ（csv）等）	
	・4-13-1-①_2022BASE生物機能システム科学専攻博士前期シラバス	【再掲】
	・4-13-1-②_2022BASE生物機能システム科学専攻博士後期シラバス	【再掲】
	・4-13-1-③_2022BASE一貫制博士課程シラバス	【再掲】
	・4-13-1-④_2022BASE共同先進健康科学専攻シラバス	【再掲】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
シラバスの未記入率は、生物機能システム科学専攻博士前期4.7%、生物機能システム科学専攻博士後期3.7%、一貫制博士課程15%、共同先進健康科学専攻1.6%で、一貫制博士課程がやや多い。一貫制博士課程は集中講義が多く、集中講義の場合は、科目ごとに授業の日程・概要が固まったら学生にEメールにて、日程・概要・日時・単位数等を周知し、履修の案内をしている。【評価対象事項1と同じ】		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		
学務委員会委員が、シラバス点検委員となっており、集中講義の時期にもシラバスの点検をおこなうこととする。		
学生への授業の案内を補完するため、Google クラウドルームを活用している。		

評価対象事項 14. 教育上主要と認める授業科目の担当教員の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか	●教育上主要と認める授業科目	
	・別紙様式4-14-①	
	●シラバス	
	・4-14-2-①_2022BASE生物機能システム科学専攻博士前期シラバス	【再掲】
	・4-14-2-②_2022BASE生物機能システム科学専攻博士後期シラバス	【再掲】
	・4-14-2-③_2022BASE一貫制博士課程シラバス	【再掲】
	・4-14-2-④_2022BASE共同先進健康科学専攻シラバス	【再掲】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 16. 履修指導体制、学修相談体制の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか	●履修指導の実施状況 ・別紙様式4-16-①	
・学生のニーズに応え得る学修相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか	●学習相談の実施状況 ・別紙様式4-16-②	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
10月入学の学生は少人数のため学生支援室の窓口もしくは研究室で指導教員が直接、説明している。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 17. キャリア関連科目、インターンシップ等の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか	●社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組	
	・別紙様式4-17-①	
	・4-17-2-②_生物システム応用科学府インターンシップ参加者一覧	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
生物機能システム科学専攻、食料エネルギー科学専攻では、インターンシップ科目としてそれぞれアドバンスト、実践型インターンシップ（企業連携）という科目を設け、必修としている。また、食料エネルギー科学専攻では、シュタインバイス大学日本研修として、ドイツ・シュタインバイス大学の学生と本学学生がチームを組み、多摩地区の企業・工場を訪問して、企業がかかえる課題に対して調査し課題解決の提案をまとめる研修を年2回行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 18. 履修上特別な支援を要する学生への学修支援の実施状況			
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考	
障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援を行う体制を整えているか	●履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況		
	・別紙様式4-18-①		
	・4-18-1-①_東京農工大学保健管理センター特別修学支援室URL		
	・4-18-1-②_東京農工大学保健管理センター特別修学支援室要項		
	・4-18-1-③_東京農工大学保健管理センター特別修学支援体制図		
	・4-18-1-④_障害を理由とする差別の解消の推進に関する役職員対応要領 4, 5, 8条		
	●チューター等を配置している場合は、その制度や配置状況が確認できる資料		
	・4-18-2-1-①_チューターのためのマニュアル (2023年度版)		
	・4-18-2-1-②_2022年度前期チューターリスト		
	・4-18-2-1-③_2022年度後期チューターリスト		
	●留学生に対する外国語による情報提供 (時間割、シラバス等) を行っている場合は、その該当箇所		
	・4-18-3-①_2022BASE生物機能システム科学専攻博士前期シラバス	【再掲】	
	・4-18-3-②_2022BASE生物機能システム科学専攻博士後期シラバス	【再掲】	
	・4-18-3-③_2022BASE一貫制博士課程シラバス	【再掲】	
	・4-18-3-④_2022BASE共同先進健康科学専攻シラバス	【再掲】	
	●障害のある学生に対する支援 (ノートテーカー等) を行っている場合は、その制度や実施状況が確認できる資料		
	・別紙様式4-18-①		
	・4-18-1-①_東京農工大学保健管理センター特別修学支援室URL	【再掲】	
	・4-18-1-②_東京農工大学保健管理センター特別修学支援室要項	【再掲】	
	・4-18-1-③_東京農工大学保健管理センター特別修学支援体制図	【再掲】	
	・4-18-1-④_障害を理由とする差別の解消の推進に関する役職員対応要領 4, 5, 8条	【再掲】	
	●特別クラス、補習授業を開設している場合は、その実施状況 (受講者数等) が確認できる資料		
	●学習支援の利用実績が確認できる資料		
	・別紙様式4-18-①		
	・4-18-5-①_障害のある学生に対する支援		
	【特記事項】 資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		

【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載
【分析項目に対する自己評価】
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分
【優れた成果が確認できる取組】
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）

評価対象事項 19. 成績評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定しているか	●成績評価基準	
	・4-19-1-①_東京農工大学学則29条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 20. 成績評価基準の周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学生に周知しているか	●成績評価基準を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料等の該当箇所	
	・4-20-1-①_東京農工大学学則29条	【再掲】
	・4-20-2-①_2022BASE生物機能システム科学専攻博士前期シラバス	【再掲】
	・4-20-2-②_2022BASE生物機能システム科学専攻博士後期シラバス	【再掲】
	・4-20-2-③_2022BASE一貫制博士課程シラバス	【再掲】
	・4-20-2-④_2022BASE共同先進健康科学専攻シラバス	【再掲】
	・4-20-3-①_生物機能システム科学専攻履修案内	【再掲】
	・4-20-3-②_食料エネルギーシステム科学専攻履修案内	【再掲】
・4-20-3-③_共同先進健康科学専攻履修案内	【再掲】	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 21. 成績に対する異議申し立ての状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績に対する異議申し立て制度を組織的に設けているか	●学生からの成績評価に関する申し立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料	
	・4-21-1-①_成績確認制度に関する要項 2,3条	
	・4-21-1-②_令和4年度前期成績照会及び成績確認申請のお知らせ	
	・4-21-1-③_令和5年度前期成績照会及び成績確認申請のお知らせ	
	●申し立ての内容及びその対応、申し立ての件数等の資料・データ	
	・4-21-2-①_成績確認回答通知書	
	●成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）を保存することを定めている規定類	
	・4-21-3-①_国立大学法人東京農工大学法人文書管理規程 11条別表第1	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 22. 卒業又は修了要件の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定しているか	●卒業又は修了の要件を定めた規定	
	・4-22-1-①_国立大学法人東京農工大学学則 72～75条	
	・4-22-1-②_東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則 3, 4, 11条	
	●卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料	
	・4-22-1-①_国立大学法人東京農工大学学則 72～75条	【再掲】
	・4-22-2-①_国立大学法人東京農工大学部局組織運営規程 11条	
	・4-22-2-②_生物機能システム科学専攻博士前期課程令和5年度修了予定者学位論文審査関係日程	
	・4-22-2-③_生物機能システム科学専攻博士後期課程令和5年度修了予定者学位論文審査関係日程	
	・4-22-2-④_食料エネルギーシステム科学専攻博士後期課程令和5年度修了予定者学位論文審査関係日程	
	・4-22-2-⑤_共同先進健康科学専攻令和5年度修了予定者学位論文審査関係日程	
・4-22-2-⑥_生物機能システム科学専攻学位審査取扱要項 4～8条, 11～18条, 23～29条		
・4-22-2-⑦_食料エネルギーシステム科学専攻学位審査取扱要項 6～13条, 16～19条, 21～23条		
・4-22-2-⑧_東京農工大学生物システム応用科学府・早稲田大学理工学術院先進理工学研究科共同先進健康科学専攻学位審査取扱要項 5～8条, 10～12条, 16～23条		
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 23. 学位論文又は特定の課題についての評価基準の策定状況			
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考	
・大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定しているか	●学位論文（課題研究）の審査に係る手続き及び評価の基準		
	・4-23-1-①_国立大学法人東京農工大学学則 72～75条	【再掲】	
	・4-23-1-②_東京農工大学学位規程 3～10条, 12～17条		
	・4-23-1-③_東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則 9～12条		
	・4-23-1-④_東京農工大学学位審査機構の運営に関する規程 2, 3, 5条		
	・4-23-1-⑤_生物機能システム科学専攻学位審査取扱要項 4～8条, 11～18条, 23～29条		
	・4-23-1-⑥_食料エネルギーシステム科学専攻学位審査取扱要項 6～13条, 16～19条, 21～23条		
	・4-23-1-⑦_東京農工大学生物システム応用科学府・早稲田大学理工学術院先進理工学研究科共同 先進健康科学専攻学位審査取扱要項 5～8条, 10～12条, 16～23条		
	●修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方が確認できる資料		
	・4-23-1-①_国立大学法人東京農工大学学則 72～75条	【再掲】	
	・4-23-2-①_国立大学法人東京農工大学部局組織運営規程 11条		
	・4-23-2-②_生物機能システム科学専攻博士前期課程令和5年度修了予定者学位論文審査関係日程	【再掲】	
	・4-23-2-③_生物機能システム科学専攻博士後期課程令和5年度修了予定者学位論文審査関係日程	【再掲】	
	・4-23-2-④_食料エネルギーシステム科学専攻博士後期課程令和5年度修了予定者学位 論文審査関係日程	【再掲】	
	・4-23-2-⑤_共同先進健康科学専攻令和5年度修了予定者学位論文審査関係日程	【再掲】	
	・4-23-1-⑤_生物機能システム科学専攻学位審査取扱要項 4～8条, 11～18条, 23～29条	【再掲】	
	・4-23-1-⑥_食料エネルギーシステム科学専攻学位審査取扱要項 6～13条, 16～19条, 21～23条	【再掲】	
	・4-23-1-⑦_東京農工大学生物システム応用科学府・早稲田大学理工学術院先進理工学研究科共同 先進健康科学専攻学位審査取扱要項 5～8条, 10～12条, 16～23条	【再掲】	
	【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載			

【分析項目に対する自己評価】
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分
【優れた成果が確認できる取組】
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）
【結果を踏まえた対応計画】 自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）

評価対象事項 24. 策定した卒業又は修了要件（学位論文評価基準を含む。）の学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知しているか	●卒業（修了）要件を学生に周知していることを示すものとして、学生便覧、シラバス、オリエンテーションの配布資料、ウェブサイトへの掲載等の該当箇所	
	・4-24-1-①_生物システム応用科学府修了要件（履修案内抜粋）	
	・4-24-1-②_東京農工大学学則73～74条	【再掲】
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 25. 卒業又は修了の認定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施しているか	●教授会等での審議状況等の資料	
	・4-25-1-①_第2022-4回大学院生物システム応用科学府教授会議事要旨	
	〈専門職学位課程を除く大学院課程の分析〉	
	●学位論文（特定課題研究の成果を含む。）に係る評価基準、審査手続き等	
	・4-25-2-①_国立大学法人東京農工大学学則 72～75条	【再掲】
	・4-25-2-②_東京農工大学学位規程 3～10条, 12～17条	【再掲】
	・4-25-2-③_東京農工大学大学院生物システム応用科学府教育規則 9～12条	【再掲】
	・4-25-2-④_東京農工大学学位審査機構の運営に関する規程 2, 3, 5条	
	・4-25-2-⑤_生物機能システム科学専攻学位審査取扱要項 4～8条, 11～18条, 23～29条	【再掲】
	・4-25-2-⑥_食料エネルギーシステム科学専攻学位審査取扱要項 6～13条, 16～19条, 21～23条	【再掲】
	・4-25-2-⑦_東京農工大学生物システム応用科学府・早稲田大学理工学術院先進理工学研究科共同先進健康科学専攻学位審査取扱要項 5～8条, 10～12条, 16～23条	【再掲】
	●学位論文の審査体制、審査員の選考方法が確認できる資料	
	・4-25-2-⑤_生物機能システム科学専攻学位審査取扱要項 4～8条, 11～18条, 23～29条	【再掲】
・4-25-2-⑥_食料エネルギーシステム科学専攻学位審査取扱要項 6～13条, 16～19条, 21～23条	【再掲】	
・4-25-2-⑦_東京農工大学生物システム応用科学府・早稲田大学理工学術院先進理工学研究科共同先進健康科学専攻学位審査取扱要項 5～8条, 10～12条, 16～23条	【再掲】	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 26. 標準修了年限内の卒業（修了）率及び「標準修了年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	●標準修業年限内の卒業（修了）率（過去5年分）および「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）	
	・4-26-1-①_BASE回答_まとめ【BASE照会用】_各出局学科、専攻別の卒業率修了率(2023年度回答)	
	●資格の取得者数が確認できる資料	
	・4-26-2-①_取得資格一覧	
	●論文の採択・受賞状況、各コンペティション等の受賞状況が確認できる資料 ・4-26-1-①_2022年度の学生表彰者一覧表	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
博士後期課程の修了率が低いのは、社会人ドクターの比率が高く長期履修制度を活用している学生も多いため、標準修業年限を超えて修了する者が多いことによる。また、学生定員も少ないので、少人数の年限超過でパーセンテージが大きく影響するため。		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 27. 就職及び進学状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	●就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（過去5年分）	
	・別紙様式4-27-①	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input type="checkbox"/> 4. 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

教育課程と学修成果に関する自己点検・評価（連合農学研究科）

評価対象事項 1. シラバス入力状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
全授業科目のシラバスが全件、全項目について入力されているか	シラバス入力状況	
	第424回連合農学研究科代議委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
通知や依頼を丁寧に行うことにより、履修期間開始前の入力率100%を維持している。		
専任教員と事務担当者で入力状況を確認し、問題がある場合には修正、あるいは担当者への修正依頼をしている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 2. 成績分布状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認しているか	連合農学研究科成績評価分布データ	
	第430回連合農学研究科代議委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
研究科長、副科長（専任教員）が分布を確認し、問題がないことを代議員会に報告している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 3. 授業アンケート結果		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業への理解度や難易度が適正な水準を保っているか	2022年度後期授業アンケート集計結果	
	第425回連合農学研究科代議委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 4. 卒業（修了）時の学生からの意見聴取		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学の目的及び学位授与方針に則した学修成果が得られているか	2022年度卒業生・修了生アンケート集計結果	
	第425回連合農学研究科代議委員会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
通知や依頼を丁寧に行うことにより、高い回答率を維持している。		
個別意見についても、必要に応じて状況の調査や対応を行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 5. 学位授与方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
学位授与方針が、大学の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されているか	連合農学研究科ディプロマ・ポリシー	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
履修案内にディプロマポリシーを明示することにより周知している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 6. 教育課程方針		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・教育課程方針において、①教育課程の編成の方針②教育課程における教育・学修方法に関する方針③学習成果の評価の方針、が明確かつ具体的に示されているか	連合農学研究科カリキュラム・ポリシー	
・教育課程方針が学位授与方針と整合性を有しているか	連合農学研究科カリキュラム・ポリシー 連合農学研究科ディプロマ・ポリシー	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】 履修案内に各開講科目とディプロマポリシーの関係を示したカリキュラムチャートを明示することにより、教育課程方針の周知に努めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 7. 教育課程の編成の体系性		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育課程の編成が、体系性を有しているか	連合農学研究科カリキュラムマップ及びフローチャート	
	連合農学研究科履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
履修案内にカリキュラムチャートに合わせてカリキュラムフローチャートを明示することにより、教育課程の編成の体系性を周知している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 8. 授業科目の内容		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっているか	連合農学研究科シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
博士取得を目指して編成された体系的な教育課程に適した内容で実施されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 9. 他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位認定の規定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
他大学又は大学以外の教育施設等における入学前の既習得単位を認定する規定を定めているか	学則61条, 76条, 76条の2, 79条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 10. 学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導体制		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導体制が適切に整備され、計画を策定した上で指導されているか	連合農学研究科教育規則2条, 8条, 9条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
各年次の開始時に副指導教員も研究の進展状況を確認し、必要に応じて助言ができる仕組みを作っている。		
大講座ごとの合同ゼミナールを行うことにより、講座内の指導教員以外の教員（配置大学以外の大学や連携研究所からの教員を含む）から研究の成果や方法に関する助言を受けられるような仕組みを作っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 11. 1年間の授業を行う期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっているか	学則14条-16条	
	令和5年度学年歴	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
多くの講義が集中講義なので、年度開始前に十分に調整をして、開講時期が集中したり重なったりしないように配慮している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 12. 授業期間		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっているか ・10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げているか	令和5年度学年歴	
	連合農学研究科シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 13. 授業形態や学修指導法の適切性や学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
適切な授業形態、学修指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されているか	連合農学研究科シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスに明示するよう各教員に求めており、示されていないシラバスには、追記の依頼をしている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 14. 教育上主要と認める授業科目の担当教員の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当しているか	教育上主要と認める授業科目（別紙様式4-14-①）	
	連合農学研究科シラバス	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
語学関連講義や実務の紹介等を行う講義では、それぞれ適任の非常勤講師等により開講している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 16. 履修指導体制、学修相談体制の状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われているか	履修指導の実施状況（別紙様式4-16-①）	
・学生のニーズに応え得る学修相談の体制を整備し、助言、支援が行われているか	学習相談の実施状況（別紙様式4-16-②）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 17. キャリア関連科目、インターンシップ等の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式4-17-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 18. 履修上特別な支援を要する学生への学修支援の実施状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学修支援を行う体制を整えているか	履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式4-18-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 19. 成績評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定しているか	学則29条	
	連合農学研究科履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスに明記することを求めており、シラバス確認時にその適切性の確認も行っている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 20. 成績評価基準の周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績評価基準を学生に周知しているか	学則29条	
	連合農学研究科履修案内2023	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
シラバスに明記すると同時に、開講時にも説明することを各担当教員に求めている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2.または1.とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 21. 成績に対する異議申し立ての状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
成績に対する異議申し立て制度を組織的に設けているか	連合農学研究科履修案内2023	
	成績確認制度に関する要項2条, 3条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
異議申し立てがあった場合には、担当教員と当該学生双方の主張を聞き取り、双方が納得する解決策をとっている。		
本年度、対応方法を明文化した。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 22. 卒業又は修了要件の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定しているか	学則72条, 74条, 75条	
	連合農学研究科教育規則3条	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
東京農工大学大学院連合農学研究科（博士課程）に係る学位論文審査基準として策定されている。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 23. 学位論文又は特定の課題についての評価基準の策定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定しているか	学位規程	
	連合農学研究科課程修了認定及び学位審査等取扱規程	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 24. 策定した卒業又は修了要件（学位論文評価基準を含む。）の学生への周知状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む。）を学生に周知しているか	連合農学研究科履修案内2023	
	連合農学研究科に係る学位論文審査基準等について	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
学位論文審査基準をウェブサイトに掲載することにより、周知している。		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 25. 卒業又は修了の認定状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施しているか	第107回連合農学研究科教授会議事要旨	
	第108回連合農学研究科教授会議事要旨	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 26. 標準修了年限内の卒業（修了）率及び「標準修了年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	2022年度卒業・修了率データ（過去5年間の推移）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		

評価対象事項 27. 就職及び進学状況		
分析項目	分析に使用した資料・データ等	備考
・就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあるか	就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況（別紙様式4-28-①）	
【特記事項】資料では十分に自己点検できないと判断する場合、またはその他の特記事項、資料を参照する際に留意すべきことがあれば記載		
【前回の自己点検・評価結果を踏まえた対応状況】前回の自己点検・評価において、対応計画を策定した場合は、その計画の進捗状況及び効果の検証、フォローアップ状況を記載		
【分析項目に対する自己評価】		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 適切 <input type="checkbox"/> 3. 概ね適切 <input type="checkbox"/> 2. 一部不十分 <input type="checkbox"/> 1. 不十分		
【優れた成果が確認できる取組】		
【改善を要する事項】（自己評価を2. または1. とした場合は必須）		
【結果を踏まえた対応計画】自己点検・評価の結果、講じることとする改善策等の対応計画を記載（【改善を要する事項】を記載した場合は必須）		